

令和2年度 第4回掛川市総合計画審議会 議事概要

日時	令和3年2月4日(木) 10:00~10:20
会場	掛川市役所5階 庁議室

■出席者（敬称略）

No	氏名	所属・役職等	出席状況
1	日詰 一幸	国立大学法人 静岡大学 人文社会科学部長	出席
2	星之内 進	一般社団法人 中東遠タスクフォースセンター 理事長	出席

発言者	発言内容
1 開 会	
事務局	<p>ただ今から、第4回総合計画審議会を開催いたします。</p> <p>先月1月18日に、松井市長から、総合計画審議会に対して、「第2次掛川市総合計画基本構想改定案」を諮問させていただきました。本日は、それに対する答申を、総合計画審議会を代表して、日詰一幸会長、星之内進副委員長にさせていただきます。</p> <p>それでは、日詰会長、星之内副会長よろしくお願いたします。</p>
2 答 申	
3 あいさつ	
会長	<p>市長から諮問をいただいた件につきまして、委員の皆様と色々と議論を交わした中で取りまとめたものを本日ご報告させていただき、とてもほっとした思いです。</p> <p>企画構想の方向性は見えてきまして、これから次年度に向けて基本計画に入って参ります。委員の皆様には、基本構想の7つの戦略につきまして色々な角度から議論していただき、本当に今の最先端の議論ができたと感じております。特に、掛川らしさといったものを、新しい流れの中でいかに表現していくかということが、これから大事になってくると思います。そういう意味では、非常に時代にマッチした総合計画になるよう、これからも力を尽くして参りたいと思っております。</p>
副会長	<p>今回の審議会は、コロナがきっかけではありますが、まさしくコロナにどう対応していくかという中での良い審議会でした。中でも、市外の方も含めた新しい英知を集めて、非常に新しい手法で、とても良い審議会がしっかりとできてよかったと思っています。</p> <p>私も20年ほど掛川で暮らしていますが、審議会を通じて、改めて掛川の魅力や掛川らしさというすごいポテンシャルを持っているということに改めて気づきました。このポテンシャルを現実のものにして夢を実現していく、子どもたちが本当に掛川に生まれてよかったと思えるような計画になっていると思いますので、ぜひその実現に向けてご尽力いただきたいと思います。そしてその時には、この基本構想の中でも述べられているように、市民の参画というものがベースになると思いますので、この基本構想やこれからまとめる基本計画が市民にどう共有されるか、市民に分かりやすく、自分たちが参加しているという思いが持てるように共有していく工夫が、成功の秘訣ではないかと思えます。ぜひそのあたりを含めて、今をスタートとして、実現に向けて一緒にやらせていただければと思います。</p>
市長	<p>昨年3月31日にまとめて4月1日からスタートするすばらしい総合計画を作っていたところではありましたが、このコロナの状況があり、国の方針あるいは世界の状況等々見て、色々な意味で大転換が起こりうるという見通しをもち、今回の総合計画の見直しを判断しました。そして、掛川の置かれている状況を、今の大変な変革の兆しがある時に、今までのことを引き続いて同じようにやるのではなく、掛川の将来のまちづくりを見直して、改めてスタートしていくことが必要ではないかという思いがありました。総合計画を改めて見直すというのはなかなか難しいことで、色々な意見もありましたが、この審議会の色々な意見交換をお聞きしながら、やはりこの時期に、将来に向けて、新しい掛川市を目指していくという方向転換が必要だということを、議論を通して改めて確認ができました。</p> <p>今、会長から、ポストコロナのまちづくりにおいては、SDGsやDXの観点を踏まえて、掛川市がこれまで進めてきた「誰もが支え合う、役立ち合う社会」、そしてSDGs</p>

でも謳われている「誰ひとり取り残されない社会」を作っていこうという内容を答申としていただきました。我々もそういう形でこれからしっかりと進めていかなければいけないという思いがありましたので、答申をしっかりと尊重して前に進めていきたいと思っております。また、答申の中に、協働によってこれから基本計画の改定をしていくというお話がありました。市民に分かりやすく、市民の気持ち・意見をしっかりと踏まえ、情報を共有しながら作り上げていく、そしてその時には、審議会の委員の皆様のお聞きし、基本計画をしっかりと定めて参りたいと思っております。

私も市長になってから、総合計画の策定は3回目となりますが、今回の審議会の皆様の話し合いにつきましては、非常に短い期間でしたが、一番充実していたと感じております。審議会の委員の皆様がそれぞれの思いを発信していただき、基本構想の答申としていただきましたので、今後しっかりと進めていきたいと思っております。

掛川市の政策アドバイザーの内山節さんが、新聞のコラムに、コロナ時代ですごく大変で不透明で先行きがまったくわからないが、地域社会の助け合い支え合い、そして一人も取り残さない、そういう地域社会はしっかりと守っていかなければならないという話を書かれていました。今日いただいた答申の内容とまさしく同じで、コアの部分はしっかりと守りながら、あとは掛川らしさや掛川の魅力をどのようにうまく発信しながらまちづくりを進めていくかが非常に重要なことだと思っております。本日、会長と副会長からお話をいただきましたので、しっかりと実行していきたいと思っております。以前は、総合計画を作ると、できたことが目的になってしまうということが多く、総合計画なんていないという議論がたくさんあり、議会にも諮る必要はないと言われていました。しかし掛川市は、自治基本条例の中で、総合計画の基本構想については、市民の代表が集まる議会の承認をいただく必要があるという条文を作りました。今日は答申をいただきましたので、これを2月の市議会定例会に諮って、承認をいただき、今後、戦略の部分を含めていきたいと考えております。会長、副会長、そして委員の皆様には、総合計画をこれから具体化していく中でも色々とアドバイスをいただければと思っております。

本日は、ありがとうございました。

4 閉 会